

とんぐい村の こみ・すく通信

令和2年6月12日発行 **第5号**
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

第1回更別中央中学校 学校 運営協議会が開催される

更別小学校に引き続き、中学校でも6月4日に学校運営協議会が開催されました。竹田校長から今年度の学校運営に関する基本的な方針が説明され、承認されました。

教育愛と信頼を基盤としながら「自ら学び、考え、主体的に行動する生徒」の育成を目指します。



また、学校運営協議会の年間活動計画やこれまで学校でおこなってきた地域と連携した学習活動の確認がされました。

運営協議会委員からは、「生徒のゴミ拾い活動が地域住民から高く評価され素晴らしい活動であると思うが、今年度実施は可能か」「地域が関わる教育活動は、今年度何か発展したり新たな取組が増えたりしたものはあるか」の2点が質問されました。

学校からは、「ゴミ拾いは全校で6月末に実施予定、地域と連携した教育活動は、感染防止の観点で難しい部分もあるが、委員の皆様にも知恵をいただきながら進めていきたい」という返答がありました。

	委員氏名 (敬称略)	推薦理由
会長	中村 清	更別中央中学校PTA役員
副会長	水口 恵充	更別中央中学校PTA役員
委員	山浦みさえ	更別中央中学校PTA役員
	矢島 俊輔	商工会青年部代表
	太田 雄基	更別小学校PTA代表
	平山 善一	上更別小学校PTA代表
	酒井 裕子	更別村主任児童委員
	山田 康介	さらべつホープ代表
	菅谷 頼子	更別中央中学校教諭
	竹田 義隆	更別中央中学校校長

「目指す子どもの姿」 更中は「徳（心）」について熟議

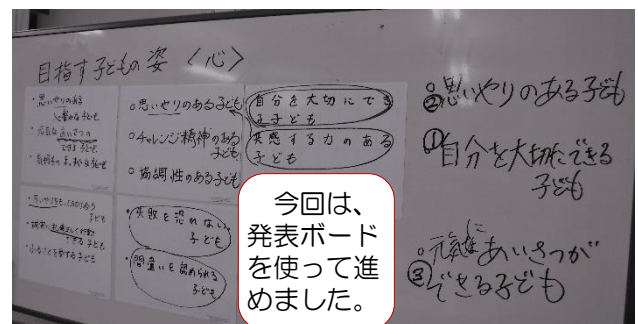
中央中の学校運営協議会は「徳（心）」の部分について協議しました。行政区長、保護者、教職員のアンケート結果を参考にしながら各自シートに書き込み、2人で話し合いをし、その後全体で交流しました。



【二人のペアで熟議】

真剣な話し合いを聞かせていただく中で心に残った内容がありました。「今の子どもたちは失敗を恐れる傾向が強い。失敗してもよい。その失敗から学ぶこともたくさんある。」これは、学び（知）で話し合った更別小学校でも出ていた話題です。

委員の皆様から以下のような「徳（心）」についての目指す姿が出され、おおまかに3点にまとめられました。



今回は、発表ボードを使って進めました。

- ・自分を大切にできる子ども
- ・思いやりのある子ども
- ・元気にあいさつができる子ども

この目指す姿は、最終的にはCS委員会で決定されていきます。他の「学び（知）」「体」「郷土愛」とのかかわりで、変更されることもあります。